

2008年度事業報告書

自 2008年4月 1日

至 2009年3月31日

特定非営利活動法人 開発教育協会（DEAR）



事業の概要

1. はじめに ～ 2008年度を振り返って ～

2008年は、アメリカの金融危機の影響が世界の隅々に広がり、世界的な大恐慌が起きました。日本国内でも、雇用問題や、貧困・格差の問題が大きく取り上げられ、最も弱い立場にある人たちの生活が犠牲になり、セーフティーネットが欠如している日本社会の現状をまざまざと見せられた1年でした。

また、市場重視の国内の政策は日本の教育現場や子どもたちを取り巻く状況にも影響を与えました。教師の免許更新制度や、学力テストの実施など、知識偏重の教育改革に、教育現場は大きく混乱しました。

そのようななかでDEARは、中期方針の1年目として、地域や学校における「学びの場づくり」の支援や、市民の社会参加の力を高めていくために優先的な事業を行い、体制を整えた1年でした。

中期方針として掲げた5つの柱に関しては、偏りはあるものの、実施体制を整え、具体的に事業をすすめました。

また、年度当初に計画した4つの領域「ネットワーク事業」「調査・研究事業」「情報・出版事業」「研修・講座事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

まずは、各中期方針の成果を以下に報告いたします。

1) 中期方針1 グローバル化による諸課題を「足もとの課題」から捉える視点の提示

日本国内の貧困や格差、在日外国人のおかれている状況が大きく取り上げられるなか、「第26回開発教育全国研究集会」では、「多文化共生」をテーマに議論を深めました。また、「開発教育連続セミナー」(大阪事務所主管)や「教材体験フェスタ2009」では、国内の開発課題や足もとからグローバル化による諸課題を考えるワークショップを積極的に展開し、課題に取り組む姿勢を育みました。また3年目となる研究会「ESD・開発教育カリキュラム」部会でも、地域で足もとの課題をテーマにして作成された教材やカリキュラムの研究を行い、報告書を作成しました。

2) 中期方針2 学校教育への開発教育モデル事業の提案

知識偏重の学力を重視する教育改革がすすむなか、「対立から学ぶワークショップ」や「授業づくりサークル」では、学校で開発教育を実施しやすい環境づくりやプログラムづくりを実施し、研究を深めました。特に、『創造的(クリエイティブ)に対立解決』の翻訳版を発行するなど、今後広めていくための基盤作りをおこないました。

3) 中期方針3 国際協力NGOとの協働プログラムの実施

国際協力NGOの現状を知り、情報共有をするために、5月の総会にあわせて「団体会員の集い」を実施するとともに、いくつかの会員団体との話し合いを通して、DEARの役割や協働の可能性を探りました。また、当会も会員である教育協力ネットワーク(JNNE)の事務局として文部科学省の国際協力イニシアティブを受託しました。国際協力NGOのプロジェクトで行われている子ども参加の成功例を分析し、『子どもの参加を促すガイド』を作成しました。

4) 中期方針4 地域との有機的なネットワークの再構築

今まで培ってきた全国各地の担い手団体との関係をより有機的にするために、地域とDEARの共通のテーマを見つけ、協働・実施していく具体的なつながりを探りました。JICAの「NGO人材育成研修」の一環として、大阪、浜松、千葉の担い手を理事と事務局員が訪問するなどし、今後どのような協働や連携が可能なのかを検討しました。来年度の全国研究集会は仙台で実施することが決定されるとともに、地域で作成された教材をDEARと協働で発行するなどの可能性が挙がってきました。

5) 中期方針5 組織基盤の強化

組織基盤強化のために掲げている自己財源の安定化に関しては、大学向けの販促などの成果もあり、書籍販売収入が予算を大幅に上回りました。また、広報戦略に関しては、パンフレットの作成、ウェブサイトのリニューアル、動画の作成・掲載を行い、より多くの人々にDEARを知ってもらう基盤をつくりました。

ここ数年減り続けていた会員数が、今年度は微増しました。これからも一層会員のニーズや要望にこたえられるようつとめていきます。

以下、各種事業の実施概要についてご報告いたします。

2. 各種事業報告

ネットワーク事業

1) 「担い手」連携強化事業

地域とDEARの協働のテーマを探り実施していく具体的なつながりを探った。JICAの「NGO人材育成研修」の一環として、大阪、浜松、千葉の担い手を理事と事務局員が訪問するなどし、今後どのような協働や連携が可能なのかを検討した。来年度の全国研究集会は仙台で実施することが決定されるとともに、地域で作成された教材をDEARと協働で発行するなどの可能性が挙がってきた。

2) 第5回「開発教育全国ネットワーク会議」

第5回目となる「開発教育全国ネットワーク会議」を2月28日～3月1日の日程で富坂キリスト教センター（東京・小石川）にて開催。34名が参加し、各地域の現状や今後に向けた課題等が議論された。詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。なお、本事業の実施に際しては、地球環境基金からの助成を得た。

3) 「海外ネットワーク」事業

2009年に開催される第6回国際成人教育会議のために、「第6回国際成人教育会議のための国内『草の根会議』」に参加するとともに、市民によ

る提言をまとめたCSOレポートに開発教育の立場から執筆した。

調査・研究事業

1) 開発教育研究会

「ESD・開発教育カリキュラム」部会

昨年度に引き続き、ESD（持続可能な開発のための教育）をはじめ、「剥奪としての貧困論」や「参加型開発」などの今日的課題に照らした新しい開発教育のカリキュラム作成をテーマとする部会活動を行った。また、3年間の研究結果をまとめた報告書『ESD総合カリキュラム～地域を掘り下げ・世界とつながる』を発行した。なお、本事業は地球環境基金からの助成を得た。

「紛争解決教育」部会

紛争解決教育に関する調査研究を行うとともに、日本の教育現場や地域社会での実践方法やカリキュラムの開発に向けた研究活動を行った。日本の高校での実践を報告してもらい、カリキュラムの助言などをいただいた。

授業づくりサークル

特に小、中学校における開発教育の実施を広めるために、教員間の情報・経験共有を行うことをねらいに、実施した。セミナーの実施やカリキュラムの分析を行った。

2) 第26回「開発教育全国研究集会」の開催

「多文化共生と教育を考える」をテーマに8月23日（土）から24日（日）までの2日間の日程で、「東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター」（東京）を会場に全国研究集会を開催。参加者数は講師や主催関係者を含めて250名。なお、詳細に関しては、別途発行の報告書を参照のこと。

3) 研究誌『開発教育』の編集発行

第55号を10月に明石書店から発行した。特集は「参加型開発と参加型学習」。また、来年度の第56号の発行に向けた企画編集作業を行った。

編：山西優二、上條直美、近藤牧子
企画協力：DEAR
発行：(株)新評論
発行月：2008年5月

1) 会報「DEARニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を今年度も年6回(偶数月)発行した。

<発行実績>

- ・第132号(発行：4月1日)
特集「100人の村の未来を語ろう」
- ・第133号(発行：6月1日)
特集「わたしたちは先住民族 先住民族サミットアイヌモシリ 2008」
- ・第134号(発行：8月1日)
特集「水俣病をどう伝えていくか 水俣病の半世紀・私たちとの関係」
- ・第135号(発行：10月1日)
特集「多文化共生と教育を考える」
- ・第136号(発行：12月1日)
特集「『闇のこどもたち』とブラジル会議」
- ・第137号(発行：2月1日)
特集「地球温暖化を防ぐために」

2) 新規教材図書の新規企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の企画編集や制作発行を行なった。

「市民教育実践事例集」の発行

過去の会報などで紹介された開発教育の実践事例を収集整理し、学校や地域で活用するための「実践事例集」として発行した。なお、本事業は、東京ボランティア・市民活動センターと、(株)LUSHの助成金を得た。

<教材概要>

『市民学習実践事例集～教室と世界をつなぐ参加型学習30』

企画・制作：実践事例報告編集委員会

発行：開発教育協会

発行日：2009年3月20日

判型・頁数：A4判・88頁

対象：実践者・研究者

そのほか図書教材の編集企画・編集協力以下の図書の企画協力を行った。

『地域から描くこれからの開発教育』

『参加型開発による地域づくりの方法～PRA実践ハンドブック』

著：ソメシュ・クマール

監訳：田中治彦

企画協力：DEAR

発行：明石書店

発行月2008年5月

『開発教育 持続可能な世界のために』

編著：田中治彦

企画協力：DEAR

発行：学文社

発行月：2008年8月

3) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料の他、関係団体からの委託図書などを販売し、自己財源の強化を図った。年度末には大学向けに大量購入のキャンペーンを実施し、購入を促した。

4) 広報資料作成

パンフレット改訂

当会の使命や事業内容を分かりやすく伝え、賛同者、支援者を募るために、パンフレットの改訂をおこなった。

動画作成

参加型学習や当会のオリジナル教材を紹介するための動画を作成し、ウェブに掲載した。動画作成に関しては、(特活)チャリティ・プラットフォームから助成金を得た。

ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。また、より安定した運営のためにプロバイダをWADAX社に変更した。

<2008年8月19日～2009年3月31日>

- ・訪問者数：58,671(1日約261)
- ・総ページビュー：163,851(1日約2.8)
- ・直帰率：62%(平均2.79ページビュー)
- ・新規訪問者率：71%(リピーター29%)
- ・平均サイト滞在時間：2分16秒

サーバ移転のため年度途中からの数字です

ウェブサイトのリニューアル
サービス・グラントTOKYOのボランティアチーム
の協力を得て、ウェブサイトの全面リニューアル
を行った。2009年3月1日付けで公開した。

メールマガジンの発行
2008年9月から毎月1回のメールマガジンの発行を
開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月
末現在約457名が購読登録した。

資料請求者への対応
ウェブサイト上から無料で資料請求を開始した。
全国から請求があり、毎月平均12件、約150件に
対応した。

・ 研修・講座事業

1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校/大学・
自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依
頼に対して、DEARの役職員等を講師として計
73件138回派遣した。詳細は資料編を参照。

2) 教材体験フェスタ2009

当会のオリジナル教材等を使ったワークショッ
プ体験を目的とする標記フェスタを、09年3月28
日(土) 29日(日)に、東京YMCA 社会体
育・保育専門学校(東京都江東区)にて開催した。
当会の教材のほか、京都の開発教育研究会で作成
した「足もとの課題」を扱った教材や、国際協力
NGOが作成した教材を広く紹介し、参加型学習
や開発教育の理解を深めることができた。教員や
NGO関係者など関係者を含め延べ350人の参加
があった。

3) 対立から学ぶワークショップ

CR教育研究会の活動と平行して下記のワー
クショップを開催し、30名の参加があった。
テーマ:「創造的な問題解決のために」
日程: 8月7日(木) 10:30~17:00
8月8日(金) 10:00~16:30
会場: 富坂キリスト教センター1号館
講師: CR教育研究会メンバー
内容: 「解説: CR教育とは」「学習環境づくり」
「対立の概念」「ウィン・ウィン型解決法」「いろ
いろな気持ち」「ふりかえり」など。

4) 授業づくりサークル ワークショップ

授業づくりサークルの研究活動と平行して下
記のワークショップを開催し、各回20名前後の参
加があった。

- 第1回: 9月26日(金) 19:00~21:00
「回転寿司の授業~おいしいマグロのひみつ」
講師: 本山 明氏(中学校教員)
参加者: 25名
- 第2回: 11月8日(土) 14:00~16:00
「地図からはじめる開発教育~小学校低学年から
のとりくみ」
講師: 米井 慎一氏(小学校教員)
参加者: 15名
- 第3回: 2009年1月16日(金) 19:00~21:00
「世界につながる私たちの暮らし~パーム油から
見える世界」
講師: 加藤 英嗣氏(小学校教員)
参加者: 20名
- 第4回: 2009年3月20日(祝) 14:00~16:00
「気持ちを認めるコミュニケーション~学級づく
りのヒント」
講師: 中村 絵乃(DEAR)
参加者: 20名

5) 「開発教育連続セミナー2008」

< 主管: 大阪事務所 >

今年度は「持続可能な社会へむけての2つの視
点 便利なくらしの裏側・地域でつくる多文化共
生」をテーマに、全6回のセミナーを以下の通り
実施した。

< 開催実績 >

日程: 下記の通り
会場: 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)
共催: (財)大阪国際交流センター / (独)国際協
力機構(JICA)大阪センター
後援: 大阪府教育委員会 / 大阪府教育委員会 /
(特活)関西NGO協議会 / YMCA総合研究所
/ (特活) 持続可能な開発のための教育の10年推進
会議(ESD-J) / ESD関西

第1回: 9月28日(日) 14:00~17:00
くらしの裏側 「コンビニから考えよう」
佐藤友紀氏(関西セミナーハウス開発教育研
究会運営委員)

第2回: 10月26日(日) 14:00~17:00

くらしの裏側 「ケータイの一生」

向井一朗氏（関西セミナーハウス開発教育研究会運営委員）

第3回：11月30日(日)14：00～17：00

地域の多文化共生 「普通のまちの普通の多文化共生」

前川仁三夫氏（(特活)とんだばやし国際交流協会）/大場美和子氏（広島女学院大学文学部専任講師）

第4回：「教材体験フェスタ」

<日時>12月13日(土)10:00～17:00

<内容>A「貿易ゲーム」(荒川共生氏・アジアボランティアセンター) / B「強いられた移動～難民」(山中信幸氏・柳学園中学校高等学校) / C「世界がもし100人の村だったら」(浜本裕子氏・Y M C A 学院高等学校) / D「開発教育入門(フォトランゲージやランキングなど)」(丸山まり子氏・奈良県安堵町立安堵小学校) / E「パーム油のはなし」(向井一朗氏・関西セミナーハウス開発教育研究会運営委員) / F「『援助』する前に考えよう」(談儀善弘氏・わかやま地球市民の杜)

第5回：1月14日(水)18：30～20：30

地域の多文化共生 「異文化理解ワークショップ」

藤戸里美氏（(財)八尾市国際交流センタースタッフ）

第6回：2月8日(日)14：00～17：00

地域の多文化共生 「世代、分野、セクターをつなぐ、持続可能な地域づくり」

榎井縁氏（とよなか国際交流センター）

6) 各種講座

「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月計11回約225名の参加者を得て開催した。

教材体験ワークショップ「ケータイの一生」

2007年に発行された教材を紹介・体験するためのワークショップを4月12日(土)に行った。参加者は30名。

「平和ワークショップ～核問題を切り口に」

核問題活動家のK・サリバン氏のワークショップを立教大学ESD研究センターの協力を得て、5月10日(土)に実施した。参加者数は40名。

7) 他団体との共催・協力事業

外務省の相談員事業を受託した他、他団体との共催・協力事業の他、15件の事業を後援した。

外務省相談員事業

外務省が「NGO活動環境整備支援事業」の一環として実施している「NGO相談員」を受託し、開発教育や国際協力に関する一般からの相談や照会に対応した。年間の相談件数は888件だった。

文部科学省「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業

文部科学省が実施している標記事業を教育協力ネットワーク(JNNE)の事務局として受託し、途上国の子ども参加の事例を調査・研究するとともに、『子どもの参加を促すガイド』(和文・英文)を作成した。

孝道山研修事業

孝道山の職員向けにおこなう「紛争解決教育」の研修会の企画・運営に協力する計画であったが、内容や日程調整をしたうえで、来年度実施することとなった。

仏教NGOネットワーク研修事業

仏教NGOネットワーク(BNN)が実施している宗門系大学向け授業・講座や社会教育活動の指導者研修の企画運営に協力した。

立教大学ESD研究センターとの協働事業

次のような同センターの主催事業等の実施に際して、企画運営や編集翻訳などの形でこれに共催・協力した。

ESD研究会 「持続可能な地域づくりとファシリテーターの役割」の共催

第1回：5月27日

「インドネシアと日本の地域づくりの経験から学ぶ」

講師：長畑誠氏・山田理恵氏(いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク)

第2回：6月5日

「アイヌ民族との協働による取り組みから / 北海道におけるESDの進展」

講師：小泉雅弘氏(さっぽろ自由学校「遊」)

第3回：6月17日

「福島県奥会津における住民参加型調査と組織開

発の実践」

講師：嵯峨創平氏（(特活)環境文化のための対話
研究所 代表）

第4回：2月19日

「国際協力と開発教育：援助の近未来を探る」

講師：田中治彦氏（立教大学）

コメンテーター：上平泰博氏（(特活)おおもろ子
ども交流センター館長）磯野昌子氏（かながわ開
発教育センター理事）

司会：湯本浩之（立教大学）

『^{クリエイティブ}創造的に対立解決～教え方ガイド』の共同

発行

アメリカ、ニューヨーク市を中心に、対立解決の
プログラムを実施するNPO、Morningside
Centerが1996年に発行した教材”Resolving
Conflict Creatively Program Teaching Guide”
を当会と立教大学ESD研究センターで共同発行し
た。

日本YMCA同盟の「地球市民教育カリキュラ

ム」への協力

日本YMCA同盟が実施する「地球市民教育カリ
キュラム」の内容や概要について助言し、カリ
キュラムの企画運営に協力した。

（特活）地球の木の日韓地球市民交流への協力
10月31日（金）～11月1日（土）に韓国・ソウ
ルで行われた地球の木と韓国の「地球村分かち合
い運動」の交流活動である標記セミナーに参加、
協力した。

ジョアンナメイシーワークショップ「絶望を抱
きしめて」への企画協力

エンゲイジド・ブディズム研究会主催の標記
セミナー（11月18日～21日）の企画・開催の協力
を行った。地球的課題への取り組みと、内面のふ
り返りを融合したメイシー氏のワークショップか
ら様々なことを学ぶことができた。参加者数は関
係者含め、70名。

以上

処務の概要

1：会員に関する事項

2009年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年未比の数字。

正会員	団体	27団体	(+1団体)
	個人	436名	(+8名)

賛助会員	団体	17団体	(+0団体)
	個人	236名	(-2名)
		(内学生会員：46名)	(-8名)

<参考>	団体会員	44団体	(+1団体)
	個人会員	672名	(+6名)

2：役員に関する事項

(註：役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

<代表理事>

岩崎裕保(帝塚山学院大学)

<副代表理事>

上條直美(立教大学)

湯本浩之(立教大学)

<常任理事>

田中浩平(千葉YMCA柏センター)

山西優二(早稲田大学)

<理事>

大江浩((社)日本キリスト教海外医療協力会)

木下理仁(かながわ開発教育センター)

佐藤友紀(DEAR大阪)

佐渡友哲(日本大学)

土橋泰子(ワークショッププロデューサー)

浜本裕子(YMCA学院高等学校)

藤野達也((財)PHD協会)

三宅隆史((社)シャンティ国際ボランティア会)

本山 明(公立中学校教員)

中村絵乃((特活)開発教育協会)

<監事>

重田康博(宇都宮大学)

山崎唯司((独)国際協力機構広尾センター)

<評議員>

阿久澤麻理子(兵庫県立大学)

阿部眞理子((特活)国際ボランティアセンター山形)

磯田厚子((特活)日本国際ボランティアセンター/女子栄養大学)

稲見綾乃((財)日本YMCA同盟)

岩附由香((特活)ACE)

黒田かをり(CSOネットワーク)

黒田貴史(明石書店)

小泉雅弘(北海道開発教育ネットワーク/さっぽろ自由学校「遊」)

嵯峨創平((特活)環境文化のための対話研究所)

杉澤経子(東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター)

田中治彦(立教大学)

玉城直美(沖縄NGO活動推進協議会)

中野民夫(博報堂)

永田佳之(聖心女子大学)

長畑 誠(いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク)

奈良崎文乃(国際NGO職員)

贄川恭子((特活)WE21ジャパン)

早川信夫(日本放送協会)

韓 朱仙((特活)コモンビート)

ヘッセ杉山尚子(生涯学習・異世代異文化コミュニケーション・コーディネーター)

松本智量((特活)アユス=仏教国際協力ネットワーク)

三輪敦子(ユニフェム大阪)

諸英樹(ニュー・インターナショナルリスト)

<顧問>

田中義信(大阪女学院短期大学)

平田哲((特活)アジアボランティアセンター)

3：会員総会に関する事項

2008年度定期会員総会

と き：5月31日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 1号館会議室
(東京・小石川)

議案：

- 第1号議案 2007年度事業報告および収支報告について
- 第2号議案 中期方針について
- 第3号議案 2008年度事業計画および収支予算について
- 第4号議案 2008-09年度役員の選出について

4：理事会に関する事項

第1回理事会

とき：5月31日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 1号館会議室

議案：

<報告・協議>

- 1) 正副代表理事および常任理事の選出
- 2) 各種委員の委嘱
- 3) その他

第2回理事会

とき：10月18日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館会議室

議案：

<協議>

- 1) 上半期の事業報告・収支報告について
- 2) 下半期の主な事業予定について
- 3) 新JICAとの関係について
- 4) 中期計画について
- 5) そのほか

第3回理事会

とき：2月27日(金)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館会議室

議案：

<協議>

- 1) 2008年度の事業報告・収支報告について
- 2) 2009年度の事業計画原案・収支予算原案について
- 3) そのほか

第4回理事会

とき：5月9日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館会議室

議案：

<協議>

- 1) 2008年度の事業報告案・会計報告案について
- 2) 2009年度の事業計画案・収支予算案について
- 3) そのほか

5．評議員会に関する事項

第1回評議員会

とき：7月19日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館 1階会議室

議案：

- 1) 報告：DEARの組織概要および事業概要について
- 2) 協議：
アクティビティ「5年後のDEAR」について
グループディスカッション
・ DEARのウェブサイト
・ 成功体験の共有
そのほか

第2回評議員会

とき：1月24日(土)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館 1階会議室

- 1) 報告：DEARの事業報告・会計報告・中期計画・次年度計画について
- 2) 協議：グループディスカッション
新規教材・資料について
地域・異分野間ネットワーク
講師派遣事業を広めるためのしくみづくり

6．企画推進委員会および企画推進会議に関する事項

(注：企画推進委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

1) 企画推進委員

委員長：阿部秀樹(会社員)

副委員長：田中浩平(団体職員)

委員：浅井杏子(大学生) / 石川一喜(拓殖大学国際開発教育センター) / 猪股雄輝(公立小学校教員) / 米井慎一(私立小学校教員)

2) 企画推進会議

第1回企画推進会議 7月23日(水)

ところ：富坂キリスト教センター 2号館会議室

第2回企画推進会議 10月10日(金)

ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室
第3回拡大企画推進会議 2月11日(土)
ところ：富坂キリスト教センター2号館会議室

7：DEAR大阪運営委員会および運営委員会 に関する事項

(注：DEAR大阪運営委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです。)

1) DEAR大阪運営委員

委員長：藤野達也((財)PHD協会)
委員：阿久澤麻理子(兵庫県立大学) / 荒川共生
(マイ・チケット) / 岩崎裕保(帝塚山学院大
学) / 内田弘志(YMCA総合研究所) / 大森容
子((財)滋賀県国際協会) / 佐藤友紀(府立高校
教員) / 談儀善弘(高校教員) / 友前尚子(府立
養護学校教員) / 仲川順子(地球市民フォーラム
なら) / 永井道子((財)神戸YMCA) / 奈良昭
彦(関西セミナーハウス) / 浜本裕子(YMCA
学院高等学校) / 丸山まり子(小学校教員) / 向
井一郎(JICA職員) / 三輪敦子(ユニフェム
大阪) / 山中信幸(柳学園中学校・高等学校)
監査役：榛木恵子((特活)関西NGO協議会)

2) DEAR大阪運営委員会

第1回運営委員会 4月19日
ところ：関西NGO協議会 会議室
第2回運営委員会 9月27日
ところ：大阪YMCA会議室

3) フィールドスタディ in 和歌山

日程：1月24(土)～25(日)
目的：和歌山県御坊(金山寺味噌)、湯浅(醤油)、
海南(伝統の棕櫚たわし、日用品)等の地域を支
える産業とそれに関わる方々から学び、持続可能
な社会のあり方を考える。
参加者：17名(うちDEAR大阪の運営委員5名)

8：プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のようなプロジェクト・チーム
が企画推進委員会内に設置され、各事業や活動の
企画運営にあたった。

開発教育研究会

a)「ESDカリキュラム」部会(リーダー：
小貫仁)
b)「紛争解決教育研究会」部会
c)「授業づくりサークル」部会(リーダー：
本山明)

第26回「開発教育全国研究集会」実行委員会
研究誌「開発教育」編集委員会(編集長：山西
優二)

会報「DEARニュース」編集委員会(リー
ダー：阿部秀樹)

実践事例報告編集委員会(リーダー：田中治
彦)

「開発教育入門講座」

「グローバル・エクスプレス」(リーダー：石
川一喜)

「DEARユース」(代表：浅井杏子)

9：職員に関する事項

<事務局>

事務局長	中村 絵乃(有給・専従)
事務局次長	西 あい(有給・専従)
事業担当	八木 亜紀子(有給・非専従)
経理担当	小倉 真弓(有給・非専従) 2009年3月末をもって退職
書籍担当	大久保 美智彦(有給・非専従)
書籍担当	吉川 由里子(有給・非専従) 2008年4月～6月
総務担当	大野 のどか(有給・非専従) 2008年5月～9月

<大阪事務所>

所長 佐藤 友紀(無給・非専従)
次長 浜本 裕子(無給・非専従)

10：インターンに関する事項

今年度に受け入れを行ったインターンは次の通り。
宮崎花衣(社会人、2008年6月～2009年3月)
堤 麻衣子(桜美林大学、2008年8月)
齊藤理恵(桜美林大学、2008年3月)

以上

< 資料 1 > 出版・編集・取材協力 など

< 単行本：企画協力 >

『地域から描くこれからの開発教育』(2008年5月)

編：山西優二、上條直美、近藤牧子

発行：(株)新評論

『参加型開発による地域づくりの方法～PRA実践
ハンドブック』(2008年5月)

著：ソメシュ・クマール 監訳：田中治彦

発行：明石書店

『開発教育 持続可能な世界のために』

(2008年8月)

編著：田中治彦

発行：学文社

< ブックレット >

『子ども参加を促すガイド』(2009年3月)

発行：教育協力NGOネットワーク(JNNE)

編集・企画協力

『ESD教材活用ガイド 持続可能な未来への希望』

(2009年3月)

発行：(財)ユネスコ・アジア文化センター

取材・執筆：「回転寿司～自分の「なぜ？」から社会
を考える」

< 雑誌 >

「国際協力ガイド2010」

発行：国際開発ジャーナル社

内容：開発教育の紹介と、事務局長中村絵乃のイン
タビュー

「ゆめのはこ 9号」(2008年10月)

発行：非営利活動団体 ゆめのはこ

寄稿：『子どもとお話できていますか？～子どもに伝
わる会話の方法 3つのヒント』中村絵乃(事務局
長)

「留学交流 vol.20 no.10」(2008年10月)

発行：(独)日本学生支援機構

内容：「橋を架ける人 138」への事務局長中村絵乃
の紹介

< 新聞 >

教育新聞(2008年5月15日)

題目：「教材研究 ケータイから世界が見えてくる」

内容：ワークショップ「ケータイの一生」の取材記
事

毎日新聞(2009年3月20日)

題目：「地球村に架ける橋 人類社会の問題学ぶ場」

内容：DEARの活動と代表理事岩崎裕保のインタ
ビュー

< ニュースレター >

「Lake No.73 滋賀県国際交流・協力情報誌」

(2008年秋)

発行：(財)滋賀県国際協会

取材協力：ワークショップ「ケータイの一生」の紹
介

「The YMCA No.680」(2008年10月)

発行：(財)日本YMCA同盟

寄稿：『私たちが持っているものに気づき、世界のた
めに使うこと - 世界に飛び立つ青年達へ向けて』

中村絵乃(事務局長)

「ネットワーク」(2008年11月)

発行：東京ボランティア・市民活動センター

取材協力：教材「世界がもし100人の村だったら」と
DEARの活動紹介

「The YMCA No.683」(2009年1月・2月)

発行：(財)日本YMCA同盟

対談協力：『グローバル・シティズンシップ YMCAだ
からこそできる地球市民育成を目指して』

「SIRA WIND」

発行：(財)仙台国際交流協会(2009年1月1日)

内容：DEARの活動と教材の紹介

「みと好文カレッジ情報」

発行：水戸教育委員会 みと好文カレッジ

内容：ワークショップ「世界がもし100人の村だつた
ら」 紹介

「人推協だより No.99」(2009年3月)

発行：大阪市人権啓発推進協議会
内容：DEAR・DEAR大阪事務所の活動紹介

内容：事務局長中村絵乃のインタビュー

NGOスタッフインタビュー（2009年2月）

発行：(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)

内容：事務局長中村絵乃のインタビュー

<ウェブサイト>

Charity Navi（2008年11月）

発行：(特活)チャリティ・プラットフォーム

以上

<資料2> 「講師派遣」の実績一覧 (73件 138回)

1「時事問題を自分の視点で」(2008.4.20)

主催：東京都中途失聴・難聴者協会

内容：グローバル・エクスプレス

対象：中難協会員

派遣者：八木亜紀子(事務局長)

10「国際理解学習講座」(2008.6.19)

主催：京都府亀岡市立亀岡中学校

内容：100人村

対象：中学2年生

派遣者：佐藤友紀(理事)

2「オリエンテーションゼミ」(2008.5.7-28/計7回)

主催：亜細亜大学 国際関係学部

内容：新・貿易ゲーム

対象：大学1年生

派遣者：中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・八木
亜紀子(事務局長)

11「鎌倉女学院FW国際セミナー」(2008.6.19/計4回)

主催：(財)かながわ国際交流財団

内容：レヌカの学び・パーム油

対象：高校生

派遣者：中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・滝本
雅章(ボランティア)・大野のどか(ボランティア)

3「オムロンデー」(2008.5.10)

主催：大阪ボランティア協会

対象：オムロン社員

内容：貿易ゲーム

派遣者：佐藤友紀(理事)

12「開発教育ワークショップ」(2008.6.28,29/計2回)

主催：世界と私のつながりを知る実行委員会

内容：お弁当屋さんゲーム

対象：教員・一般

派遣者：田中祥一(ボランティアチーム)

4「フェアトレードセミナー」(2008.5.17)

主催：(財)姫路市国際交流協会

内容：チョコレートワークショップ

対象：一般

派遣者：佐藤友紀(理事)

13「教職科目 総合学習」(2008.7.1)

主催：実践女子大学

内容：パーム油

対象：大学生

派遣者：西 あい(事務局次長)

5「ボランティア論」(2008.5.13,20 計2回)

主催：大正大学

内容：援助する前に考えよう

対象：大学生

派遣者：西あい(事務局次長)

14「国際理解教育講座」(2008.7.2)

主催：ユニセフ協会埼玉支部

内容：コーヒーカップの向こう側

対象：ユニセフ協会ボランティア

派遣者：中村絵乃(事務局長)

6「異文化理解の授業」(2008.5.28)

主催：白山高校

内容：レヌカの学び

対象：高校1年生

派遣者：中村絵乃(事務局長)

15「日本語学校生徒研修」(2008.7.3)

主催：(財)海外日系人協会

内容：地球家族ほか

対象：北・中・南米の日系人

派遣者：中村絵乃(事務局長)

7「開発教育教材ワークショップ」(2008.6.7)

主催：アジア太平洋資料情報センター

内容：開発教育概論

対象：教員・一般

派遣者：中村絵乃(事務局長)

16「青少年研修」(2008.7.12)

主催：(財)日本YMCA同盟

内容：100人村ワークショップ

対象：学生

派遣者：中村絵乃(事務局長)

8「東京都私教連第47次教育研究集会」(2008.6.8)

主催：東京都私立学校教職員組合連合

内容：たずねてみよう！カレーの世界

対象：教員、高校生

派遣者：近藤牧子、若松陽子、山下利枝子(ボランティア
チーム)

17「国際協力論」(2008.7.24)

主催：桜美林大学

内容：ケータイの一生

対象：学生

派遣者：西あい(事務局次長)

9「NCC基礎講座」(2008.6.6 計3回)

主催：大正大学

内容：100人村

対象：大学生

派遣者：中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・八木
亜紀子(事務局長)

18「給食部会研修」(2008.7.24)

主催：茨木市教育研究会

内容：100人村ワークショップ

対象：教員・栄養教員

派遣者：佐藤友紀(理事)

19「教職員研修」(2008.7.28)

主催：水戸市教育委員会

- 内容：100人村ワークショップ
対象：教員
派遣者：西あい（事務局次長）
- 20「こども国際交流クラブ」(2008.7.30)
主催：かつしかシンフォニーヒルズ
内容：100人村ワークショップ
対象：小学生
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 21「平成20年度国際教育セミナー」(2008.8.1-2/計3回)
主催：JICA大阪
内容：100人村ワークショップ・他
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）・濱本裕子（理事）
- 22「教職員研修」(2008.8.4)
主催：神奈川県立高校教職員組合
内容：ピン君にながおこったか
対象：教員
派遣者：西あい（事務局次長）
- 23「開発教育セミナー」(2008.8.4)
主催：いしかわ地球市民の会
内容：対立から学ぶワークショップ
対象：教員
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 24「教職員のための夏季教育講座」(2008.8.6)
主催：神奈川県高等学校教育会館
内容：対立から学ぶワークショップ
対象：教員
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 25「第5回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」(2008.8.11-12/計3回)
主催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、JICA 兵庫、神戸開発教育研究会
内容：子どもの権利・100円ショップ・牛肉から見える世界
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）・友前尚子（大阪運営委員）・丸山まり子（大阪運営委員）
- 26「国際教育ワークショップ」(2008.8.16)
主催：(財)滋賀県国際協会
内容：ケータイの一生
対象：教員・一般
派遣者：吉田里織（ボランティア）
- 27「校内研修会」(2008.8.20)
主催：明石市立望海中学校
内容：人間関係ワークショップ
対象：教員
派遣者：山中信幸（大阪運営委員）
- 28「青少年研修」(2008.8.29)
主催：韓国YMCA
内容：100人村ワークショップ
対象：学生
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 29「校内人権教育研修会」(2008.8.29)
主催：兵庫県尼崎市立大庄北中学校
内容：子どもの権利
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 30「吉田小学校6年生授業」(2008.9.3/計3回)
主催：水戸市教育委員会
内容：100人村ワークショップ
対象：小学6年生
派遣者：中村絵乃（事務局次長）・西あい（事務局次長）・八木
- 垂紀子（事務局員）
- 31「光華女子大学夏季集中講座」(2008.9.19)
主催：(特活)関西NGO協議会
内容：援助する前に考えよう
対象：大学生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 32「国際理解教育ひろば」(2008.9.28)
主催：JICA筑波
内容：ケータイの一生
対象：一般
派遣者：吉田里織（ボランティア）
- 33「龍谷大学講座」(2008.10.1)
主催：(特活)関西NGO協議会
内容：100人村ワークショップ
対象：大学生
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 34「国際ボランティア論」(2008.10.14、12.8/計2回)
主催：大正大学
内容：コーヒーカップの向こう側
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局次長）
- 35「人権啓発委員会学習講習講演会」(2008.10.27)
主催：佃小学校PTA
内容：人権ワークショップ
対象：PTA
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 36「東南アジア青年の船」(2008.10.26)
主催：(財)青少年国際交流推進センター
内容：貿易ゲーム
対象：アセアン諸国の学生
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 37「水戸市五軒小学校授業」(2008.10.31/計4回)
主催：水戸市教育委員会
内容：100人村ワークショップ
対象：小学生
派遣者：石川一喜（企画推進委員）・中村絵乃（事務局次長）
- 38「日本大学国際関係学部 大学祭」(2008.11.3)
主催：日本大学
内容：100人村ワークショップ
対象：学生・一般
派遣者：西あい（事務局次長）
- 39「見川小学校授業」(2009.11.4/計3回)
主催：水戸市教育委員会
内容：100人村ワークショップ
対象：小学生
派遣者：石川一喜（企画推進委員）・西あい（事務局次長）・渡部由紀子（ボランティア）
- 40「PTA研修」(2008.11.8)
主催：矢田西小学校
内容：100人村ワークショップ
対象：PTA
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 41「国際理解講座」(2008.11.9)
主催：守屋市国際交流協会
内容：コーヒーカップの向こう側
対象：一般
派遣者：西あい（事務局次長）
- 42「教育講演会」(2008.11.16)
主催：八尾市安中小学校
内容：牛肉から見える世界

- 対象：PTA 会員
派遣者：丸山まり子（大阪運営委員）
- 43「総合教育演習」(2008.11.18/計2回)
主催：横浜市立大学
内容：ジェンダーワークショップ
対象：大学生
派遣者：磯野昌子（ボランティア）
- 44「総合講座『地球市民をめざす』」(2008.11.25,12.2/計2回)
主催：明治大学 情報コミュニケーション学部
内容：開発教育概論
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局次長）
- 45「教職授業「参加型学習」」(2008.11.27)
主催：実践女子大学
内容：参加型学習の教材と手法
対象：大学生
派遣者：西あい（事務局次長）
- 46「国際理解教育プログラム」(2008.12.1)
主催：広島県立広島高等学校・(株)トップツアー 広島支店
内容：100人村ワークショップなど
対象：高校生
派遣者：上條直美（理事）
- 47「PTA 人権研修会」(2008.12.2)
主催：姫島小学校
内容：100人村ワークショップ
対象：保護者、教職員
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 48「区民大学入門講座コースブラザ」(2008.12.6)
主催：品川区教育委員会
内容：100人村ワークショップ
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 49「国際理解教育研修会」(2008.12.6)
主催：水戸市男女共同参画委員会
内容：100人村ワークショップ
対象：高校生以上
派遣者：上條直美（理事）
- 50「ワン・ワールド・フェスティバル2008」(2008.12.20)
主催：ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
内容：フェア・トレードワークショップ
「チョコの来た道」「コーヒーから知る貿易」
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 51「国際理解教育研修」(2008.12.20)
主催：宮城 DE ネット・東北大学
内容：対立から学ぶワークショップ
対象：教員・一般
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 52「開発教育ワークショップ」(2008.12.23)
主催：香川県セカンドハンド
内容：開発教育基礎講座
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）・向井一朗（大阪運営委員）
- 53「教職員研修事業 参加型人権研修」(2009.1.7)
主催：四日市市教育センター
内容：フェアトレード
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）
- 54「職員研修」(2009.1.12)
主催：名古屋 Y M C A
内容：100人村ワークショップ
対象：職員
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 55「N G O 訪問」(2009.1.13)
主催：早稲田大学大学院日本語学科
内容：地球家族など
対象：大学院生
派遣者：西あい（事務局次長）
- 56「中野西高校英語科講演会」(2009.1.26/計2回)
主催：長野県中野西高校英語科
内容：ケータイの一生
対象：高校生
派遣者：中村絵乃（事務局員）
- 57「おおた区民大学 多文化共生・国際理解講座」
(2009.1.27,2.10/計2回)
主催：大田区教育委員会社会教育課
内容：多文化共生のワークショップ
対象：区内在住・在勤 一般
派遣者：西あい（事務局次長）・滝本雅章（ボランティア）
- 58「内原小学校授業」(2009.2.4/計2回)
主催：水戸市教育委員会
内容：100人村のワークショップ
対象：小学生
派遣者：石川一喜（企画推進委員）・八木亜紀子（事務局員）
- 59「大阪市人権啓発推進委員共通課題研修」
(2009.1.20,2.4,2.10,2.23,3.10/計5回)
主催：大阪市人権啓発推進協議会
内容：100人村ワークショップ
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）・浜本裕子（理事）・向井一朗（大阪運営委員）
- 60「国際理解促進講座」(2009.2.3/計2回)
主催：千葉コンベンションビューロー
内容：貿易ゲーム・地球の食卓
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局次長）・宮崎花衣（インターン）
- 61「国際理解ウィーク」(2009.2.3)
主催：大森高校
内容：貿易ゲーム
対象：高校生
派遣者：中村絵乃（事務局次長）・宮崎花衣（インターン）
- 62「J I C A 教師海外研修 東京都授業実践報」(2009.2.8)
主催：J I C A 地球ひろば・青年海外協力協会
内容：報告会の進行
派遣者：中村絵乃（事務局次長）
- 63「開発教育支援事業 高校生実体験プログラム」
(2009.2.22)
主催：J I C A 横浜 市民参加協力課
内容：地球家族
対象：高校生
派遣者：西あい（事務局次長）
- 64「開発教育研修会」(2009.2.8)
主催：埼玉 N G O ネット
内容：ケータイの一生
対象：一般・教員
派遣者：西あい（事務局次長）
- 65「国際理解セミナー」(2009.2.8)
主催：なら・シルクロード博記念国際交流財団
内容：シンポジウム パネリスト
対象：一般

派遣者：浜本裕子（理事）

66「地域人推委主催研修会（ふれあい学習会）」（2009.2.12）
主催：地域人権教育推進委員会大阪市北区・淀川区・東淀川区
内容：地球にやさしいって何だろう～パーム油のはなし～
対象：教員
派遣者：佐藤友紀（理事）

67「ファシリテーター養成講座」（2009.2.21,22 / 計2回）
主催：仙台国際交流協会
内容：開発教育概論・ファシリテーター養成ワークショップ
対象：教員・一般
派遣者：湯本浩之（理事）

68「国際貢献ボランティア講座」（2009.2.14）
主催：岡山県企画振興部国際課
内容：貿易ゲーム
対象：一般
派遣者：佐藤友紀（理事）

69「三重県人権大学修了生フォローアップ研修会」
（2009.2.26）
主催：（財）反差別・人権研究所みえ
内容：ケータイの一生
対象：三重県人権大学修了生
派遣者：向井一朗（大阪運営委員）

70「第2回国際教育主任研修会」（2009.3.4）
主催：さいたま市教育委員会
内容：地球家族ほか
対象：教員
派遣者：西あい（事務局次長）

71「世界一受けたい授業のお祭り」（2009.3.8 / 計2回）
主催：地球市民の会 佐賀
内容：開発教育入門講座など
対象：一般
派遣者：中村絵乃（事務局長）

72「JICA 大阪高校生国際協力実体験スプリングセミナー」
（2009.3.25-26 / 計4回）
主催：JICA 大阪
内容：開発教育ワークショップ
対象：高校生
派遣者：木下理仁（理事）・佐藤友紀（理事）

73「総合教育演習」（2008.9.25-2009.1.29 / 計26回）
主催：横浜市立大学
内容：開発教育ワークショップ
対象：大学生
派遣者：中村絵乃（事務局長）

以上

< 資料3 > 「名義後援」の実績一覧

(計:15件)

教育協力NGOネットワーク 「世界一大きな授業」(2008年4月23日)

(財)日本クリスチャンアカデミー 「開発教育セミナー2008」(2008年度)

かながわ開発教育センター 「ワークショップ道場(入門編)」(2008年5月24日~25日)

武蔵野市国際交流協会 「夏期教員ワークショップ2008」(2008年7月29日~31日)

かながわ開発教育センター 「ワークショップ道場(入門編)」(2008年8月9日~10日)

(財)滋賀県国際協会 「平成20年度国際教育ワークショップ」(2008年8月16日)

かながわ開発教育センター 「参加型学習教材研究セミナー」(2008年9月20日)

PGL会議運営委員会 「第7回PGL「グローバルランゲージ(地球語)としての平和」
(2008年9月27日~28日)

立教大学ESD研究センター 「石井昭男氏『マグサイサイ賞』受賞記念講演会(2008年11月7日)

(社)協力隊を育てる会 「第17回開発教育全国集会~国際協力フォーラム」(2008年11月16日)

(財)全国青少年教化協議会 「共生シンポジウム 2008-環境・平和・開発」(2008年11月17日)

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
「多文化協働実践研究・全国フォーラム(第2回)」(2008年11月28日~30日)

立正佼成会青年本部 「青年の日」(2009年5月17日を中心に)

(独)国際協力機構JICA地球ひろば 「平成20年度教師海外研修 東京都授業実践報告会」
(2009年2月8日)

あるがまーま 「講演会 食からつながる地球の裏側」(2009年3月1日)

以上